

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅱ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 「福祉心理学基盤演習Ⅰ」の内容を踏まえ、社会福祉学や心理学の理論や知識を基盤としたコミュニケーションの基本を学び、さらに理解を深めることを目的とする。自己理解に基づきながら、社会とのより良いかかわりについて体得することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 社会的存在としての人を意識して、自己と社会とのかかわりに関する調査・分析を行い、発表や討論を通して自らの人生の方向性について理解を深める。</p>				
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるよう、自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的かつ誠実な態度での参加を求める。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉学や心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HSU (1) ~ (3)、WP (5)	
②	自己理解に基づいたコミュニケーション力を身につけることができる。			HSU (1) ~ (3)、WP (6)	
③	人と社会の多様なかかわりについて理解し考察できる。			HSU (2) (3)、WP (3) (6)	
④	社会の中で自己理解に基づいた自己表現ができる。			HSU (2) (5)、WP (4) (6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	自己と社会とのかかわり方について学ぶ(1)。	講義・演習	講義中に指定されたテーマにしたがってインタビューの技法を実践する。	2	
2	自己と社会とのかかわり方について学ぶ(2)。	講義・演習	講義中に指定されたテーマにしたがって文章によるコミュニケーション表現を実践する。	2	
3	社会的存在としての人について自己覚知を得る(1)。	講義・演習	身近な社会人にインタビューを行い、社会とのかかわり方について調査する。	5	
4	社会的存在としての人について自己覚知を得る(2)。	演習	調査結果についてまとめ、考察する。	4	
5	社会的存在としての人について自己覚知を得る(3)。	演習	調査結果についてまとめた内容を発表及び討論する。	4	
6	自己の主体的な社会へのかかわり方について学ぶ(1)。	講義・演習	ワークに基づき自己と社会のかかわり方について考察する。	4	
7	自己の主体的な社会へのかかわり方について学ぶ(2)。	演習	考察した内容を発表及び討論する。	4	
8	自己の主体的な社会へのかかわり方について学ぶ(3)。 総括	講義と演習	発表や討論に基づいたレポートを作成する。	5	
試	/				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	15	0	0	25
	コミュニケーション力	0	10	15	0	10	35
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	第7回の最終発表会後に、第8回で提示する課題レポートについて、出題意図に即した内容が記述できているか、テーマに応じた思考・考察ができていないか、社会的な存在として自己を見つめ直して自らの進路について、相手に伝わる表現法で記述されているかという観点で評価する。				レポート講評は各自にコメントを付し返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	第5回及び第7回の発表会において、与えられたテーマに関して求められている内容を発表できているか、相手にわかりやすく伝えているかなどに関して評価する。				発表後に講評する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	第1回～第4回及び第6回において実施するワークへの取り組みや課題の提出状況に関して評価する。				ワークや課題は返却時にコメントを付す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎瀧口 綾、前川 真奈美</p> <p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p>							